

## 根木内歴史公園:湿地の観察会報告(2011/6/14 実施)

2011/6/24 文責：相澤

参加者：相澤、市川、染谷、高橋、西澤、三井、山田

去年はお休みさせていただいていた観察会の報告ですが、今月から復活します。観察会中に見られた動植物の紹介を中心に報告します。田んぼで水草らしき植物が生育しているのを確認するという発見もありましたので、今後の管理を検討して下さい。来月からは参加者の感想など載せようかと思いますが、今月は写真と相澤のコメントでご勘弁を。なお、昆虫の同定はあまり自信がないので名前の後に(?)をつけさせていただきました。

### ◇観察した動植物



#### ヒメクロイラガ(?)

さあ観察を始めようと駐車場を出発しようとする時、植え込みのところで毛の生えた不思議なカタマリを発見！どこがどうなっているのか、良く見てもあまりわからなかったのですが、写真を撮って後で調べてみると、ヒメクロイラガ(同定は保障ありません)という蛾が交尾をしているところのようです。顔の先にちょんまげのようなものがついている不思議な蛾です。

#### ミクリ

この時期の根木内歴史公園における定番の植物ですね。キショウブ池、ミクリ池に生育している環境省指定の準絶滅危惧種です。今年は例年よりも草丈が高く生長している感じがしますね。

下の白い毛のようなものの集まりが雌花で、上のダンゴ状のものが雄花です。雄花と雌花は自家受粉を防ぐために時間差で花を咲かせるのだとか。





## ガマ

ミクリ池の入口よりの端にあったものの写真です。ヒメガマ・コガマとの差は 2009 年 6 月の観察会報告に書かれております。

ガマ類は普通ヨシよりも水深が深い所に生育しますが、根木内の北斜面沿いには地面より上に水がないのにガマが勢い良く生育している場所があります。きっとしぼり水（湧水）の影響があるのでしょう。

## シロオビアワフキ(?)

キショウブ池にあるソクズの葉っぱの陰にあやしい泡を発見。モリアオガエルの卵塊？な訳はなく、中を探ってみればこんな虫が出てくるのです。これはアワフキムシというものの仲間の幼虫で、成虫はヨコバイのようになります。うっかり泡の写真撮るのを忘れてしまいました。



## ドクダミの花を訪れるヒメヒラタアブ(?)

ヒラタアブの仲間は分類が難しいのですが、これは今まで観察会で良く見かけていたホソヒラタアブとは黄色と黒のシマシマが違う様子。図鑑などで調べると、ヒメヒラタアブという種に似ていますが、いかがなのでしょう？

こんな小さなドクダミの花にも虫を引き寄せる力があるのですね。

## 田んぼの謎の水草

去年からある方の田んぼ（上富士川寄りの方）にこれまであまり見たことのない水草が出現しました。何という種類かは分からないのですが、水草は水田の水抜きを行うようになったため、各地で非常に希少になっております。もしかしたら、マコモの実生など希少なものではないかもしれませんが、雑草として抜いたり、水を落としたりはしないで配慮していただければと思います。





### 紅花のオオバコ

田んぼのあぜ道のオオバコをよくよく見てみると、花が紅いことに気づきました。こうした色の変異はオオバコでは良くあるようです。その横には普通の白花のオオバコがあって紅白が揃い、思わぬ所で小さなめでたさを皆で感じたのでした。

### ナガメ

カメムシの仲間ですが、菜花につくカメムシという意味だそうです。どこで撮ったかは忘れてしまったのですが、写真を良く見ると確かにアブラナ科のスカシタゴボウについておりますね。



### カワヂシャ

根木内歴史公園の希少な植物というのと、タコノアシ、ミクリとなりますが、忘れられがちなのがこのカワヂシャです。タコノアシ、ミクリと並ぶ環境省指定の準絶滅危惧種ですが、この湿地の中では最も出現が安定していない種でもあると言えるでしょう。今年パーゴラ前湿地の遷移が少し進んだようで、量が減ったようにも思います。今後も見守っていく必要があります。

### フトイ

茎が丸く、名前の通り太いイグサのように見えますが、イグサ科ではなくカヤツリグサ科の植物です。一昨年くらいまでは川側湿地にて少数見られたのですが、今は中央池沿いの一部に見られるだけとなり、この公園内での絶滅が危惧されます。ヨシに混じってどこにいるかわかりにくいですが、中央池の斜面側を草刈りする場合には注意してみてください。

